

～3.11 後の日本に投げかける衝撃の告発～

あの日、日本列島は「死の灰」で覆われていた！

1954年アメリカが行ったビキニ水爆実験。当時、多くの日本の漁船が同じ海で操業していた。にもかかわらず、第五福龍丸以外の「被ばく」は、人々の記憶、そして歴史からもなぜか消し去られていった。闇に葬られようとしていた。

その重大事件に光をあてたのは、高知県県の港町で地道な調査を続けた教師や高校生たちだった。その足跡を丹念にたどったあるローカル局のTVマンの8年にわたる長期取材のなかで、次々に明らかになっていく船員たちの衝撃的なその後…

そして、ついにたどり着いた、機密文書…

そこには、日本にも及んだ深刻な汚染の記録があった—

（推薦の言葉から抜粋）

私がこれまで見たドキュメンタリーの中でも、1、2を争う作品です。自分はこれほど何も知らなかったのかと思いました。

—斎藤貴男（ジャーナリスト）

人類のみじめな自滅を防ぐには、人類みんなで、何をしなければならぬか、何をしてはならないか。映画「X年後」はそのための切実な歴史の証言だ

—むの たけじ（ジャーナリスト）

特別再上映

「映画 日本国憲法」

12:00～13:25

憲法とは誰のためのものか、憲法制定の経緯や平和憲法の意義について、ジョン・ダワー、ベアテ・シロタ・ゴードン、日高六郎、班忠義、ノーム・チョムスキーなど12人の世界的な知の巨人たちが語った、貴重なインタビュー集です。

2005年の上映から8。いま、改めて憲法と向き合う私たちに、大きな示唆を与えてくれる作品だと思います。是非、ご覧ください。『X年後』鑑賞の方は無料です。

ドキュメンタリー映画

放射線を浴びた

X年後

1954年、南の海で水爆実験が行われた。被ばくマンは廃棄され漁師は捕らわれた。その後、200万トンと引き換えに、すべての魚が日本の食卓に上がった。『X年後』機密文書、もく奪けた人々…、見えてきたのは、半世紀の憂鬱と苦闘の歴史だ。



7月27日（土）

会場 せんだいメディアテーク 1Fスタジオシアター

①10:30 ②13:40 ③15:30 ④18:00 各83分

（「映画 日本国憲法」特別上映 12:00～13:20）

参加費 一般 前売り1,000円 当日1,300円

高校生 500円 当日も同じ・中学生以下無料

プレイガイド メディアテーク 1F museumshop6

藤崎プレイガイド

主催 「テロにも戦争にもNOを！」の会

連絡先 090-7936-3437 須藤 022-248-2866 春日